



# よしかい育子の 「しんぶん 赤旗」 読者だより

生活・法律相談・ご意見もお気軽にお寄せ下さい

小川・吉開

検索

部内資料  
編集・発行

2014, 2. 1 NO. 251

よしかい育子  
465-7071  
小川ゆうじ  
466-8887  
なんでも相談所  
465-9939

なんでも相談の開設は  
月・水・金の  
午前10時～正午  
無料・弁護士相談  
2月14(金)  
午後18時～20時  
予約が必要です

## 認知症になっても安心して暮らせる「まちづくり」を研修

### 福岡県大牟田市の「徘徊高齢者等 SOS ネットワーク」の取り組み



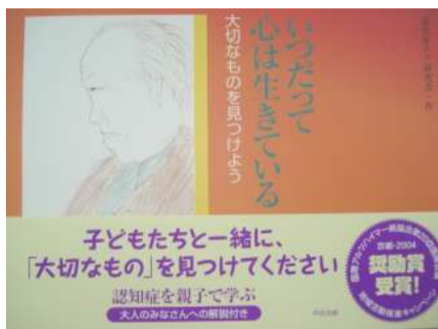
← 徘徊者役の高齢者に声かけ、保護する等の「徘徊模擬訓練」の様子  
大牟田市 HP より

「徘徊＝ノロー」ではなく、「安心して徘徊できる町」にすることが目標  
文教厚生常任委員会のメンバー（大門委員長、坂口副委員長、吉開、明貝、中川の各議員）は、1月29日に福岡県大牟田市役所で大牟田市が実施している「徘徊SOSネットワーク」の取り組みについて担当課の方から説明を受けました。

大牟田市の高齢化率は36.1%（2013年10月現在）で以前から認知症による高齢者の徘徊が課題となっていました。認知症の方を理解し地域全体で支える仕組みを作ることが必要と、この取り組みが始まりました。

#### 絵本で子どもたちと「認知症」を学ぶ

大牟田市では、子どもの時から認知症という「病気」について学ぶことが重要と、「いつだって心は生きている」（左写真）という絵本を使い小中学校で「認知症絵本教室」を行い多世代交流をすすめています。実際に中・高校生が高齢者を保護するという成果があったといえます。



10回目の模擬訓練に高校生も参加するなど10年の取り組みの中で、本当に「安心して徘徊できる町」に近づいていると感じました。

#### 毎年「徘徊模擬訓練」を実施

市内を学校区で区割りし、高齢者の徘徊による行方不明者が発生したと想定した「徘徊模擬訓練」を毎年実施しており、10回目となった平成25年度は21全校区が参加し参加者数は2千人を超えています。情報伝達・声かけ・保護までの流れを訓練し成果や課題を出し合い、今後の取り組みの参考にするとしています。

私は、説明の中で「徘徊＝ノロー」ではなく、「安心して徘徊できる町」を目指していくと聞いて、ちいさな田尻町なら出来るのではないと思いました。

### 田尻町も徘徊高齢者等 SOS ネットワークが始まる

大牟田市の取り組みが全国に広がっており、田尻町も、「徘徊高齢者等 SOS ネットワーク」の実施に向けて動いています。2月広報には、福祉課より高齢者の登録及び協力事業所の募集について掲載、また地域包括支援センターから認知症サポーター（認知症について知識・理解を深め、認知症の方やその家族を見守る）養成講座の案内などが折り込まれています。

今後、子どもたちとの学習や近隣自治体との広域連携など、大牟田市の取り組みを参考にすすめて行く必要を感じた視察でした。



武雄市図書館HPより

### 佐賀県武雄市図書館を視察

翌日30日は、佐賀県武雄市図書館を視察しました。武雄市図書館は、昨年4月に直営から蔦屋書店の指定管理に変え運営開始しました。図書館見学に先立ち市役所での説明は、樋渡啓祐武雄市長が行いました。市長がそのわずか1年前に決め、強引にすすめたことで市民や議会の中からも反対の声があがり、激しい議論があったことを自ら説明しました。

りんくう府営住宅 1戸募集あります  
福祉世帯向け ※事故住宅  
1棟 101号 3寝室 2人以上  
申込受付期間 2月17日(月)まで

確定申告の時期です。申告期限は、平成26年2月17日(月)～3月17日(月)申告のお手伝いします。ご連絡ください。